

# 竹島に戦後初の出漁

久見漁協 脇田組合長等で

日本領か？  
韓国領か？  
種々の話題  
をバラまいた竹島への出漁は隠岐島漁民の熱望の的であつたが、五箇村久美漁協組合長脇田敏氏を団長に、往年の竹島出漁者前田峯太郎氏ら十数名よりなる竹島開発挺

身隊は、重田県水産商工部次長、井川技師の指導のもとに県漁業取締船島風に乗船五月二日竹島に向つて秘密裡に出漁し三日竹島に上陸周辺で約二時間操業「ワカメ」約二千貫「アワビ」「サザエ」約三十貫を採取し四日早朝五箇村福浦に帰港した以下脇田組合長談話我々一行は韓国側に情報のもれるのを恐れ村民にも判らないよう行動した。問題の島「竹島」には三日朝十時頃着き約二時間「ワカメ」採取に従事した。竹島の「ワカメ」はまだ成長期で五月末から六月初めが最盛期であるが、韓国側が出漁する前にと悪い悪天候を侵して出漁した「ワカメ」はシケのため島の一部しか見られなかつたが約百五十万円程度はあると思われ、また「アワビ」「サザエ」は潮流の関係で予想より少なかつた。「水草」は豊富に生えており瀬魚はエサのないハリに飛びつき面白いようにつれた「ワカメ」は一尋半から二尋程度の水深のところに水面スレ／＼まで成長しており我々は手づかみにした

ほどだ、何分韓国側放送が近く砲艦を向けるとか、数十名出漁するとかいつているので同島滞在中は無我夢中でした。約一時間四十分ほど操業「ワカメ」二千貫「サザエ」「アワビ」三十貫程度取つた。昨年十月巡視船「へくら」の立てた島根県隠地郡五箇村の標柱は残つており、十月以降韓国側が渡島しなかつたことが想像出来る「ウミネコ」は西の島一面一色にぬりつぶし玉子が数百見られた「ワシカ」は我々の船が接岸したとき約三十頭ほど海中に飛び込んだのが見られたがこれからは繁殖期であるので数百はいると予想されま

す。幸い巡視船「おき」と連絡がとれ同船は島周辺を哨戒、リーダーを「ウツリヨウ島」に向けて我々を保護してくれ心強かつた。何分村民にも極秘で行つて種々心配を掛け申訳けないと思つておりますが、五箇村に所屬する「竹島」に戦後危険を侵し初出漁した我々の意気を壮としてもらい村民には後日わかつて貰えると思ひます。